

I 調査結果の概要

営農類型別経営統計
(水田作経営)

1 「組織法人」と「任意組織」の水田作経営の概要

- (1) 平成20年の組織法人の水田作経営（全国）の1組織当たり農業粗収益は4,573万円、農業経営費は3,059万円であった。この結果、農業所得は1,513万円となった。
- (2) 任意組織の水田作経営（全国）の1組織当たり農業粗収益は3,108万円、農業経営費は1,515万円であった。この結果、農業所得は1,593万円となった。

表1 水田作経営の農業経営収支（全国・1組織当たり）

区 分		単位	組 織 法 人		任 意 組 織	
			組織数	集落営農	任意組織	集落営農
集 計	組 織 数	組織	187	142	256	236
農 業	粗 収 益	千円	45 725	38 611	31 080	35 547
	うち 稲 作 収 入	〃	23 877	19 453	14 094	15 928
	麦 類 収 入	〃	1 319	1 399	2 355	2 826
	白 大 豆 収 入	〃	1 906	1 730	1 913	2 458
	農 作 業 受 託 収 入	〃	5 132	3 444	1 031	948
	制 度 受 取 金 等	〃	10 309	9 965	10 731	12 331
農 業	経 営 費	〃	30 591	24 310	15 152	17 280
	うち 肥 料 費	〃	3 037	2 586	1 877	2 149
	光 熱 動 力 費	〃	1 439	1 108	516	528
	賃 借 料	〃	2 649	2 623	4 122	4 827
	作 業 委 託 料	〃	1 964	2 406	587	670
農 業	所 得	〃	15 134	14 301	15 928	18 267
経 営 概 況	水 田 作 付 延 べ 面 積	a	3 142.5	2 928.1	3 153.3	3 662.5
	農 業 従 事 構 成 員 数	人	12.61	18.57	27.89	32.50
	構 成 員 農 業 投 下 労 働 時 間	時間	4 993	5 283	4 304	4 957

注：1 組織法人経営における「農業所得」は、個別経営と基準を合わせるために以下の処理を行って算出した。

- (1) 事業外収入に含まれる農業に係る制度受取金等を農業収入に加えて「農業粗収益」とした。
 - (2) 農業支出に含まれる構成員帰属分（構成員に支払われた労務費、地代、負債利子）を除外して「農業経営費」とした。
 - (3) 以上の処理を行った上で、「農業粗収益」から「農業経営費」を差し引いて「農業所得」とした。
- 2 本統計の「集落営農」とは、「集落」を単位として農業生産過程における一部又は全部についての共同化・統一化に関する合意の下に実施される営農のうち、収支計算まで一体的に実施する営農形態をいう。
- 3 任意組織の農業経営費については、組織が会計処理の際に、構成員所有の農機具を使用した場合等の経費を農業経営費とせず、これに相当する金額を分配金に含めて構成員に還元する場合もある。

2 組織法人及び任意組織の水田作経営以外の耕種経営の概要

- (1) 組織法人の畑作経営（全国）の1組織当たり農業粗収益は5,887万円、農業経営費は4,034万円であった。この結果、農業所得は1,853万円となった。
- (2) 露地野菜作経営（全国）の1組織当たり農業粗収益は8,795万円、農業経営費は8,438万円であった。この結果、農業所得は357万円となった。
- (3) 施設野菜作経営（全国）の1組織当たり農業粗収益は1億176万円、農業経営費は9,813万円であった。この結果、農業所得は364万円となった。
- (4) 果樹作経営（全国）の1組織当たり農業粗収益は3,897万円、農業経営費は3,416万円であった。この結果、農業所得は481万円となった。

(5) 施設花き作経営（全国）の1組織当たり農業粗収益は6,315万円、農業経営費は5,707万円であった。この結果、農業所得は609万円となった。

(6) 任意組織の畑作経営（全国）の1組織当たり農業粗収益は1,697万円、農業経営費は1,145万円であった。この結果、農業所得は552万円となった。

表2 水田作経営以外の耕種経営の農業経営収支（全国・1組織当たり）

区 分	単位	組 織 法 人					任 意 組 織
		畑 作	露地野菜作	施設野菜作	果 樹 作	施設花き作	畑 作
集 計 組 織 数	組織	13	14	29	18	23	6
農 業 粗 収 益	千円	58 872	87 945	101 761	38 966	63 154	16 970
うちいも類収入	〃	11 082	8 569	-	-	-	3 500
工芸農作物収入	〃	21 771	-	-	-	-	4 450
野 菜 収 入	〃	972	73 440	100 460	120	-	3 270
果 樹 収 入	〃	93	4	-	37 501	-	-
花 き 収 入	〃	-	-	-	-	62 470	-
制度受取金等	〃	9 885	675	417	624	235	2 463
農 業 経 営 費	〃	40 340	84 380	98 126	34 160	57 069	11 453
うち肥料費	〃	6 316	6 218	2 572	970	1 307	2 253
光熱動力費	〃	3 239	2 089	9 859	2 123	6 333	515
農 業 所 得	〃	18 532	3 565	3 635	4 806	6 085	5 517
経営概況							
作付延べ面積	a	4 409.2	3 557.1	389.9	677.0	90.1	1 736.3
農業従事構成員数	人	4.31	4.64	2.59	4.12	3.16	7.07
構成員農業投下労働時間	時間	5 379	4 961	5 417	4 818	6 273	2 193

注： 作付延べ面積は、畑作は稲、麦類、雑穀、豆類、いも類及び工芸農作物を畑に作付けた延べ面積、露地野菜作は露地野菜作付延べ面積、施設野菜作は施設野菜作付延べ面積、果樹作は果樹植栽面積、施設花き作は施設花き作付延べ面積である。

3 組織法人の畜産経営

(1) 酪農経営（全国）の1組織当たり農業粗収益は1億7,341万円、農業経営費は1億6,000万円であった。この結果、農業所得は1,341万円となった。

(2) 繁殖牛経営（全国）の1組織当たり農業粗収益は1億4,284万円、農業経営費は1億4,339万円であった。この結果、農業所得はマイナス55万円となった。

(3) 肥育牛経営（全国）の1組織当たり農業粗収益は3億6,177万円、農業経営費は3億5,909万円であった。この結果、農業所得は268万円となった。

(4) 養豚経営（全国）の1組織当たり農業粗収益は5億3,366万円、農業経営費は5億3,518万円であった。この結果、農業所得はマイナス152万円となった。

(5) 採卵養鶏経営（全国）の1組織当たり農業粗収益は5億7,656万円、農業経営費は5億7,281万円であった。この結果、農業所得は376万円となった。

(6) ブロイラー養鶏経営（全国）の1組織当たり農業粗収益は1億9,922万円、農業経営費は1億9,193万円であった。この結果、農業所得は730万円となった。

表3 組織法人の畜産経営の農業経営収支（全国・1組織当たり）

区 分		単位	酪 農	繁 殖 牛	肥 育 牛	養 豚	採卵養鶏	ブロイラー養鶏
集 計	組 織 数	組織	17	4	21	7	9	5
農 業	粗 収 益	千円	173 412	142 838	361 770	533 659	576 564	199 222
	うち酪農収入	〃	141 315	-	-	-	-	-
	肥育牛収入	〃	157	26 608	292 421	-	-	-
	自家生産和牛収入	〃	1 357	95 486	503	-	-	-
	養豚収入	〃	-	-	-	494 472	-	-
	鶏卵収入	〃	-	-	-	-	488 398	-
	ブロイラー収入	〃	-	-	-	-	-	190 682
	制度受取金等	〃	14 766	16 631	49 275	37 356	81 808	8 527
農 業	経 営 費	〃	160 002	143 392	359 090	535 178	572 806	191 925
	うち動 物	〃	3 313	17 551	104 808	18 939	31 596	26 415
	飼 料 費	〃	63 553	66 131	160 246	297 006	309 323	116 427
	光熱動力費	〃	6 531	3 398	6 475	26 439	14 709	18 749
農 業	所 得	〃	13 410	△ 554	2 680	△1 519	3 758	7 297
経 営 概 況	飼 養 頭 羽 数	頭、羽	151	210	964	8 229	145 336	432 549
	農 業 従 事 構 成 員 数	人	3.44	2.50	2.27	2.52	3.77	2.36
	構 成 員 農 業 投 下 労 働 時 間	時間	7 661	5 042	4 562	4 161	4 592	4 077

注： 飼養頭羽数は、酪農は搾乳牛、繁殖牛は繁殖めす牛、肥育牛は肥育牛、養豚は肥育豚、採卵鶏は採卵鶏の月平均飼養頭羽数、ブロイラー養鶏はブロイラー出荷羽数である。